

福井県・福井県教育委員会および福井県高等学校文化連盟美術部会主催

令和元年度ヤング・アート・キャンプ実施要項

- 1 目的 文化活動に取り組んでいる若者や子ども達を対象に、著名な文化人・芸術科が直接指導するワークショップを開催し、次世代の芸術科育成を行う。
- 2 主催 福井県 福井県教育委員会 福井県高等学校文化連盟美術部会
- 3 日時 令和元年8月2日（金） 13:30～17:00
8月3日（土） 9:00～17:00
- 4 会場 福井県立科学技術高等学校 メディアホール
〒918-8037 福井県福井市下江守町 28 Tel0776-36-1856
- 5 講師 倉敷芸術科学大学デザイン芸術科 教授 森山 知己 氏
〈経歴〉 東京藝術大学美術学部日本画専攻卒業
東京藝術大学大学院美術学研究科絵画専攻修士課程修了
〈最近の主な活動〉
『開館 30 周年記念 国宝 紅白梅図屏風 所蔵名品展』（MOA 美術館）
「描法再現・紅白梅図屏風」展示、神社仏閣の日本画の再現
- 6 参加対象 県内美術部生徒各校 3 名 定員 60 名
- 7 内 容
8月2日（金）（教員向け研修）
講義①「学校で教えてくれなかった日本画の話」
講義②「光琳に倣う」

8月3日（土）（教員・美術部生徒向け研修）
①「若冲に倣う」
和紙と水と墨のワークショップ。若冲の身体、手の動き、速度、時間の感覚などを具体的な体験を通して学び制作する。水墨画の見どころ、鑑賞にも触れる。
②「筋目描きを使った表現と水墨」

若冲が活用した「筋目描き」という技法を理解し、自由制作を行う。紙と水、墨の生み出す現象の発見から、それを使って自分なら何を発想し、またその効果をどのように活かすことができるかを考え、オリジナル作品を制作する。

③画用紙裏打ち体験

講義と実技から、日本の美術に流れている感性や伝統について考える研修である。

8 日 程 8月2日(金)

13:30～ 受付
14:00～ 講義①「学校で教えてくれなかった日本画の話」
15:30～ 講義②「光琳に倣う」

8月3日(土)

9:00～ 受付
9:30～12:00 内容① 「若冲に倣う」
12:00～12:45 昼食
12:45～15:30 内容② 「筋目描きを使った表現」
内容③ 裏打ち体験
15:30～16:30 講評
16:30～ 後始末・解散

9 持ち物 書道用具セット(毛氈、文鎮、大筆、墨汁)、ティッシュペーパー、雑巾、昼食、飲み物、内履き

<担当連絡先>

○県高文連美術部会 理事 嶽野 貴代

TEL 0776-24-5171 (藤島高等学校)

○福井県交流文化部 文化課 主任 白崎 徹

TEL 0776-20-0582